

みたけ夢だより

6月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

地域の方々に見守られて

校長 長尾 晴美

学校の中庭で尾を振りながら歩き回るセキレイの姿をよく見かけます。それもそのはず、中庭に面した保健室の窓の近く、雨風がよけられるところに巣を作っていました。誇らしげに虫をくわえている姿は、何だか花壇の花たちを守ってくれているかのようです。



みたけ台小学校の児童は毎朝集団登校をしていますが、通学路だけでなく学校の周囲もまた横断時に注意が必要な箇所があります。昨年度から関係の方々と相談を重ね、この度5月22日から、地域の方々による登校支援がスタートしました。毎朝8時から児童が無事に校門に入るまで「夢教育応援団」の黄緑色のビブスを着て、南門前と、東門下の十字路の2カ所で児童の横断の支援をしていただきます。子どもたちと登校の場面で関わりを持っていただけることが大変ありがたく、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

先日の学校説明会のときに、重点を置いている教育活動の一つが地域との連携だという話をしました。入学から一ヶ月の間、一年生の学校生活のサポートにたくさんの方々関わっていただきました。保護者の方々による給食補助もその一つです。今では自分たちで上手によそったり、運んだりできるようになりました。また、登校から下校まで丸一日の間、青葉支援ネットワークの学校ボランティアの皆様にも、今年は毎日2名ずつ来ていただきました。担任が気づかなかったことや、そっと支援していただいたことなど、毎日その日の子ども様子を伝えてくださり、担任と共有する事ができありがたかったです。

ボランティアの方が伝えてくださったエピソードの一つをご紹介します。

中休みに校庭で一年生が上級生とボールで遊んでいたときに、一年生がボールを蹴ってバス通りにボールが出てしまいました。ボランティアの方も一緒にボールを探しに出て行くと、ちょうど通りかかった方がボールを拾って渡してくださったそうです。その上級生は渡してくださった方にお礼を言うとともに、一年生に「これからは休み時間にボールを蹴ってはいけないよ。君もお礼を言おうね」と、一年生に声かけしたそうです。ボランティアの方は、その上級生の対応に感心しましたという内容でした。上級生として一年生をしっかり導いてくれる姿を見守って、さらにそれを伝えてくださったボランティアの方、そしてボールを手渡してくださった方をはじめ、すべての皆さまの温かい目や心に見守られ、みた小の子どもたちは育っていると実感しています。

6月もどうぞよろしくお願いいたします。